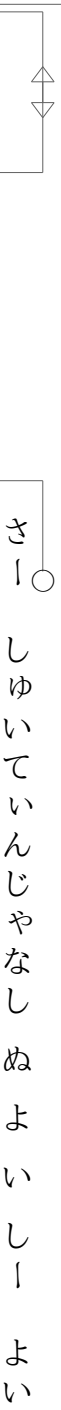


国頭サバクイ

一二揚



工中工	工中工	工中工	工中工	工中工	工中工	工中工	工中工	工中工	工中工
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

工四五	五中五七七五	王上七四	四中工五工	工五上
-----	--------	------	-------	-----

上老四	工	工中工中工	工四五	五中五中五七七五
-----	---	-------	-----	----------

五	五中五中五七七五	五	五中五中五七七五	工中工
---	----------	---	----------	-----

一、(さー)首里天加那志の(よいしーよ
いしーさー)御材木だやびる(さーは
いゆえーはーらーらさーはりが
よいしーさーいそそ そーそいー
ひひ ひーひ あーあはは はーは
ー

二、国頭掾吏 御嶽の前から
くんじやんさばくい うたきぬめー
から

しゅいていんじやなしぬ うぜーむ
くだやびる

三、名護山堅木や重さぬ引からん
なぐやまかしじや うぶさぬふいか
らん

四、御万人まじりや 皆肝揃とて
うまんちゅまじりや んなちむする
とてい

五、一 首里国王様の御材木です
二 国頭村役人 御嶽の前から
三 名護山の檜の木は重たいので引
かれない
四 御万人一同は皆揃っついていて(こ
そ引くことができる)